

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	浄水技術評価制度検討事業費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	水道課		水道課長 石飛 博之		
会計区分	一般会計		施策名	II 2 1 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第5条		関係する計画、通知等	水道施設の技術的基準を定める省令 水道水中のクリプトスポリジウム等対策の実施について (平成19年3月30日健水発第0330005号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	紫外線処理等の十分な知見が蓄積されていない新しい技術について、特に十分な技術力を有していない水道事業体における導入阻害要因を無くし、費用対効果からみて最も適切な技術の導入を促進するため、当該新浄水処理技術の評価・診断する仕組みを構築し、適切な選択に寄与する評価制度を構築すると共に、導入後に判明した水源の問題にも迅速に対応出来るよう知見を蓄積する仕組みを構築する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	急速ろ過等の確立された浄水処理技術に比べて、紫外線処理等の十分な知見が蓄積されていない新技術については、特に十分な技術力を有していない水道事業体で導入が進まない傾向にある。また、導入技術の評価・診断する仕組みがなく、導入後に判明した水源の問題への対応が遅れがちである。 水道水源は、常に上流からの汚染リスクにさらされており、十分な技術力を有していない水道事業体でも、浄水処理施設が水源のリスクレベルに対応できているかを評価し、最適な技術が導入出来るようにするため、知見の蓄積が不十分な新しい浄水処理技術を個々の浄水施設に導入する際の当該技術の有効性、適合性、現存設備との比較検証、費用対効果分析等を行い、導入技術の施設診断の在り方を検討し、診断手法を確立する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					10	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (27年度)
	選定した技術のうち、有効性、適合性を検証した技術数 (検証作業はH26～H27年度)	成果実績	%	-	-	-	100	
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	選定した技術の事例調査数		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	約300～500万円		算出根拠	予算額/選定予定技術数(2～3件)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	食品等試験検査費		10					
	計	0	10					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	現在、中小事業体における技術力は急速に低下しており、水道施設に適切な技術を導入する仕組みを急ぎ整備することは、水道経営の健全化に寄与し、低廉な料金を求める国民のニーズに沿ったものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	水道施設の技術的基準は厚生労働省令で定めており、新技術の有効性、適合性についての評価手法についても、国において確立すべきものである。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>現在、中小事業体においては、重要なライフラインの1つである水道施設に関する技術力が急速に低下しており、水道の持続が危ぶまれる中小事業体で費用対効果も含めて適切な技術を導入出来るよう、新しい浄水処理技術を評価する仕組みを急ぎ整備することは、水道経営の健全化に寄与し、低廉な料金を求める国民のニーズに沿ったものである。</p> <p>また、水道施設の技術的基準は厚生労働省令で定めており、新しい浄水処理技術の各水道に対する有効性・適合性について評価する標準的手法についても、国において確立すべきであり、浄水技術評価制度検討は国で実施すべき事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	－	本事業は、浄水処理の診断方法を確立し、水処理の安全性を高めるため、知見が十分に蓄積されていない新しい浄水技術の有効性、適合性等の分析に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	－	－	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.00	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					